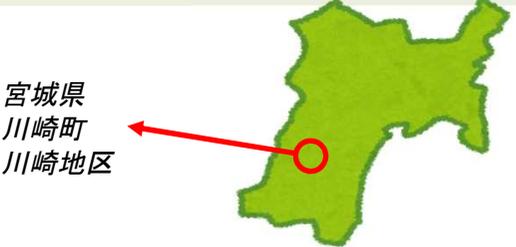


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:川崎町地域水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : 露地野菜産地の形成の推進
 計画作成主体 : 川崎町地域水田農業推進協議会
 対象品目 : ブロッコリー(産地面積1.69ha)
 主な取組主体 :
 みやぎ仙南農業協同組合川崎園芸振興普及会
 成果目標 : ブロッコリーの販売額10%以上の増加
 助成金の活用状況 :
 生産支援事業(畝立て同時マルチ機)



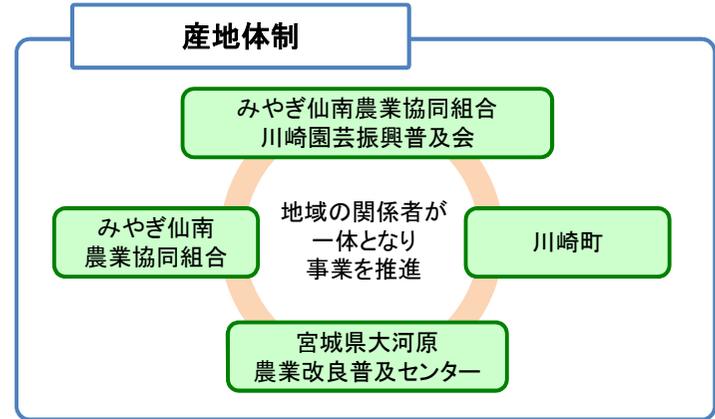
宮城県
川崎町
川崎地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 畝立て同時マルチ機械の導入により春収穫用ブロッコリーの作付面積が拡充されることにより、農家の所得向上を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】
 畝立て同時マルチ機械を導入することにより、遊休農地を活用して規模拡大が図られ、販売額10%以上を実現

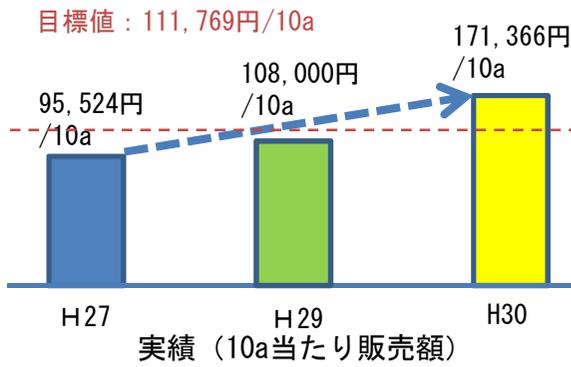


地域における独自の取組

〈主な取組〉
 遊休農地の利用促進による作付面積増加の取組

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・水稲について、高性能作業機械の導入により乾田直播の面積が拡大し生産コストの削減が実現。

販売額が79.4%増加(達成率466.9%)

目標値 : 111,769円/10a

年度	実績 (10aあたり販売額)
H27	95,524円/10a
H29	108,000円/10a
H30	171,366円/10a